

MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク』2025.7.5

第 1157 回放送分『感染症』1 回目

ゲスト：川村 英樹ドクター



二見いすず

今月のドクタートークは

「感染症」をテーマにお送りいたします。

お話は、鹿児島県医師会 川村英樹（かわむら ひでき）ドクターです。

川村さん、どうぞよろしくお願いいたします。

川村英樹Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

今月のテーマは感染症ですが、どのようなお話をしていただけるのでしょうか？

川村英樹Dr.

今週と来週は新型コロナウイルス感染症の現状と治療について。

3 週目は、万博など外国人観光客が増えているため、インバウンド感染症について。

4 週目はマダニに咬まれることによる SFTS という感染症の話をします。

二見いすず

分かりました。では今週は新型コロナウイルスの現状についてですね。

川村英樹Dr.

はい。新型コロナウイルス感染症が 5 類になって 2 年以上経ちますが、昨年の夏は鹿児島大学病院にも新型コロナウイルス感染症に罹患して肺炎などを発症し入院された方が 80 名ほどいらっしゃり、集中治療室で人工呼吸管理が必要となった方もいらっしゃいました。

県内で新型コロナウイルス感染症によって亡くなられた方は、ご高齢な方を中心に 2022 年、23 年、24 年と 3 年連続で 650 人を超えています。

二見いすず

亡くなられた方は、以前高い数字で推移しているんですね。

川村英樹Dr.

そうです。5類になったとはいえ、感染症としての病原性は変わっていません。感染力が高いので、重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある方は引き続き十分に注意していただきたいです。

二見いすず

現在はどのような株が流行しているのですか？

川村英樹Dr.

現在アジアを中心にオミクロン株を親に派生した型の一つである NB.1.8.1 という株が増加しています。この株はこれまでの流行株より高い伝播性を示すという報告がありますが、昨年使用された JN.1 株対応の新型コロナワクチンでもこれまでの流行株と同じ程度の免疫が誘導されることも報告されています。しかし、ワクチンの接種率は下降の一途をたどっています。

二見いすず

ワクチンの接種率はどのくらい下がっているのでしょうか？

川村英樹Dr.

2021 年の 1 回目では、県内の接種率は 80%でした。それが 2 回目以降は回数が増えるごとに減り続け、2023 年の秋接種は 23%でした。

二見いすず

そんなに減ったんですね。

川村英樹Dr.

2024 年から定期接種の対象が高齢者や基礎疾患がある人に対して年 1 回のワクチン接種となりました。全国の 2023 年は高齢者の接種率は 53.7%でしたが、2024 年は約 2 割程度に減少しています。一方、米国では 65 歳以上の方の 2024 年のワクチン接種は 4 割を超えると報告されており、日本でのワクチン接種率低下が目立ちます。

二見いすず

先ほどのお話にもあった、重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある方は、ワクチンを接種した方がいいんですね。

川村英樹Dr.

はい。ワクチンの重症化予防効果は高いので、高齢者や基礎疾患のある方で、ワクチン接種を考えられている方は、接種をおすすめします。

二見いすず

よく分かりました。

今月は、「感染症」をテーマにお送りいたします。

お話は、鹿児島県医師会 川村英樹ドクターでした。

川村さん、ありがとうございました。

川村英樹Dr.

ありがとうございました。